

<区役所への提言>

取り上げて欲しいテーマやキーワードとその理由	区役所担当課	担当課の考え方
<p>【8050・ひきこもり世帯の支援】 報道や書籍等で話題となっている8050世帯、ひきこもりの世帯は西区においても大きな課題であり、早急に必要な支援策や支援量も確保が必要だが対象の実態把握が十分に行えていない。令和3年度より、西区のNPOイツモントコ、ひきこもり相談支援センター、地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、民生委員児童委員、社会福祉協議会、区役所健康福祉課がメンバーとなり西区ひきこもりびとミーティングを実施、対象世帯への支援について検討等を行っている。当ミーティングでは、西区内のケアマネージャー約150名の協力のもと、8050世帯がケアマネージャー担当世帯にいくつあるのか実態調査のアンケートを行う予定だが、介護保険のケアマネージャーがついているのはごく一部である。西区内にどれくらい対象世帯がいるのか、西区だけでも全区的な実態調査が必要であると考え。すでにひきこもりびとミーティングがあり、区役所関係課と協議しながらアンケート内容など集中的に協議するとよいと思われる。</p>		<p>8050世帯の課題については、相談機関や制度の紹介、家庭訪問など様々な支援を実施するとともに、ご意見にありました、西区社会福祉協議会を中心として民生委員の代表者様、地域包括支援センターなどの関係機関の職員とともに、西区の居宅介護支援専門員(ケアマネージャー)に対して研修会とアンケートを新たに実施し、現在回答が集まっているところです。 まずはアンケート内容を分析して必要な支援について関係機関とともに検討し、その後、西区全体への調査や働きかけについても協議していきたいと思います。</p>
<p>【地域の子育て支援】 支援センターを利用されているママ達から感じるのは、「初めての赤ちゃんも大変だけど、ほんとうにどうしていいのか、わからず四苦八苦しているのは、自我が芽生えはじめた幼児期の子どもを育てている母親たちが不安や悩みを抱えて誰にも相談できずにいる」と言う現状である。現在西区で実施されているBPプログラムは第1子のママ達に向けての支援プログラムだが、それと同時に第2子以上のママ達にも同様のプログラムが必要だと強く感じる。すでに秋葉区や南区・東区では第2子以上のプログラムBP2が実施されており、BPは現在西区だけの開催でどの区よりも充実しているが、是非とも子のBP2プログラム親子の絆づくりプログラム「きょうだい生まれた」に取り組んでほしい。 この事業は参加するに当たり、最も安心と安全が保たなければならないため、子育て中のママたちにとって不安や心配ごとを話せることや、他の人の子育てを聞ける場と親自身が育ちあう環境をつくるためには、行政のもとで実施するのは一番の安心を保証できると思われる。不安や悩みをどうすることも出来ない状態をそのままにすることは、虐待を招きかねない状態を作るため、子ども虐待予防対策としても、「第2子以上の子育てしている母親にBP2プログラムを届ける」という施策を区役所企画事業として検討してほしい。</p>	健康福祉課	<p>BP2プログラムについては、第2子以降出産後の母親たちが「2人以上の子どもとどうかわるか」に悩みがあることに着目し、同じ立場で悩みを話し合うことで悩みを軽減でき、プログラム終了後に母親同士の支え合いにもつながりやすい、構造化されたプログラムであると認識しております。 他の区で実施された講座の状況を、担当者に聞いたところ、一定のニーズと育児ストレスの軽減効果があることも聞いております。 担当課としては、令和4年度に西区でも事業委託により実施する方向で、準備を進めていく意向です。</p>
<p>【BBQ】 西区人口15万人に対して、BBQができる場所が1つで、かつ炭捨て場も無い状況では不足すぎている上、BBQは老若男女(地域)の交流の場にもできるので、砂浜BBQのルール決めや海岸の炭捨て場の設置、既存公園の有効活用などで、多くの方がBBQを楽しめるような検討をしてほしい。</p>	農政商工課 建設課	<p>海水浴場では他の方の迷惑にならないよう監視員の指示に従ってバーベキューを行えることとしています。 なお、公園では条例により基本的には火気を扱うことを禁止されており、既存公園で自由にBBQを行うためには、スペースと施設設置が必要となります。ただし設置には、地域との合意形成の他、ゴミ処理や運用など様々な課題があると考えています。 建設課では昨年度にさらに西公園の基本計画を見直し、今後、BBQが出来るエリアを整備していきたいと考えています。 さらに西公園の整備にあたっては、予算の確保をはじめ工事順序や利用方法などの検討を進めながら早期に市民の皆様にご覧いただけるよう取り組んでまいります。</p>

<p>【防災】 防災に関して危機感を感じている。個人として備蓄やハザードマップの確認はできるが、もっと大規模な災害が起きた時の避難所運営については、知らないことが多いというのが現実です。ある程度長い期間での取り組みが必要である と考える</p>	<p>総務課</p>	<p>毎年、地域(自治会、町内会)、施設管理者、行政職員を対象に避難所運営講習会を開催しています。今後も継続して、段階的にステップアップしていけるような講習内容となるように実施していきます。</p>
<p>【学生の行政への参加】 自治協議会への参加をきっかけに、西区についてさらに興味をもった。地域の若者に対して政治に興味をもってもらうために、会議の公聴や意見の募集をしてみようか。</p>	<p>地域課</p>	<p>区だよりやホームページだけでなく、SNS等も活用しながら、若い世代にも発信・募集をしていきます。</p>
<p>【ヤングケアラー】 深刻かつ早急な対応が必要だが、プライバシーにも関わってくるため行政で取り組んでほしい。</p>	<p>健康福祉課</p>	<p>ヤングケアラーへの対応については、令和元年6月26日付の厚労省通知に則り、要保護児童対策地域協議会を活用し、個別案件ごとに支援検討・対応を行っておりますので、区づくり事業としてではなく、個別の支援業務の中で、引き続き関係機関と連携しながら対応していきたいと思っております。 全体的な対策に関することは、令和3年6月に福祉・教育関係の有識者による「新潟県ヤングケアラー支援検討会議」が開設され、具体的な検討・対策が進んでおりますので、引き続き注視し、今後の対応に生かしていきます。</p>
<p>【SDGs】 地元愛の醸成にもつながるため、持続的な海、川、砂浜、保安林、農地など、子どもを含めかつ学校などと連携して、地域住民全体で勉強できる機会を検討してほしい。</p>	<p>地域課</p>	<p>西区では「西区地域盛り上げ隊」事業において、区内の中学生在が地域の方と地域課題を共有し、課題解決に向けた取組を検討するワークショップを行っています。この取組の中でSDG'sの視点を取り入れ、それを踏まえた課題解決の手法を検討していきます。 また、今年度の自治協議会委員研修会でSDG'sを取り上げ、自治協議会委員の皆様からも理解を深めていただき、地域課題の解決に役立てていただきたいと思います。</p>